

TOTO

洗面化粧台

L DFA075・090・100・120 ※ ※ ※ E型

商品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1) 安全上のご注意

- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
 - この説明書では、商品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
- 使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	○は、してはいけない「禁止」内容です。		●は、必ず実行していただく「強制」内容です。
--	---------------------	--	------------------------

● 取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

警告

浴室など湿気が多い場所へ設置しない
漏電により感電するおそれがあります。

禁止

水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者・指定業者」が行う
火災や感電および水漏れの原因になります。

必ず実行

警告

電源はAC100Vを使用する
AC100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。

必ず実行

AC 100Vのみ!

壁固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する
キャビネットが転倒しけがをするおそれがあります。

必ず実行

13mm以下
木さん

注意

湯・水を逆に配管しない
水側でいきなり湯が出て、やけどをするおそれがあります。

禁止

浴室など湿気が多い場所へ設置しない
木部の膨潤、変形などによりキャビネットが外れてけがをするおそれがあります。

禁止

凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う
凍結破損で水漏れし家財などに損害を与える原因になります。

必ず実行

取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する
使用中にキャビネット・扉が落下しけがをするおそれがあります。

必ず実行

取り付け完了後、給排水管から水漏れがないかを必ず確認する
水漏れを起こすと、家財などに損害を与える原因になります。

必ず実行

2) 設置寸法

- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。
- 壁排水トラップは付属していませんので、必要な場合は別売品のL095をご購入ください。
- 止水栓は付属していませんので、必要な場合は下記品番の別売品をご購入ください。

【壁給水の場合】

間口: 750, 900, 1000, 1200
A: 325, 350, 400, 500

壁給湯: 65±13
壁給水: 145±20
壁排水: 20±13

商品裏面から木さんまでは13mm以下
固定用木さん (幅90×厚み30) (建築工事)

カウンター高さ: B
D±13 (給水・給湯)
C±20 (壁固定用ねじ位置)
E (壁固定用ねじ位置)

115±20 防臭栓(VP・VU40または50用)
床排水φ32
80±20(床排水位置)

カウンター高さ	B	C	D	E
750	980	415	350	530
800	1030	465	400	580
850 (台輪仕様)	1080	515	450	630

止水栓品番	数量
LTL4C11U	2個

3) 付属部品明細

名	称	数量
1	排水トラップ	1セット
2	給水ふた (めっき管用)	2個
3	排水ふた (φ32用)	1個
4	防臭栓	1個
5	壁固定用ねじ (φ5.2×55)	3本
6	取扱説明書セット	1セット
7	水受けトレイ	1個
8	底板化粧用ねじ (φ3.5×12)	4本
9	収納トレイ (3Wayタイプ)	1個

【床給水・樹脂配管の場合】

- 樹脂配管をご使用の場合は、TSAS4BJZAをご購入ください。

床給湯: 65±13
床給水: 20±13

D±13 (給水・給湯)

R1/2

115±20 防臭栓(VP・VU40または50用)
床排水φ32
80±20(床排水位置)
80±13(床給水・給湯位置)

カウンター高さ	給湯・給水	止水栓品番	数量
750	給湯・給水	LTL4D13U	2個
800	給湯・給水	LTL4D12U	2個
850 (台輪仕様)	給湯・給水	LTL4D11U	2個

4) 使用条件

- 水栓ユニット・水栓金具・機器類などの専用施工説明書をご参照ください。

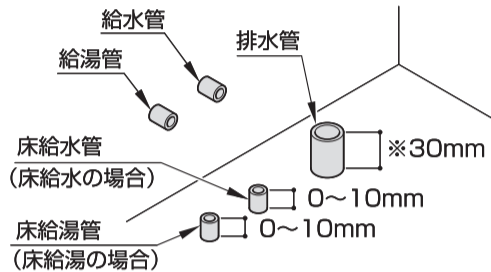
5) 取り付け条件

- 洗面化粧台を取り付ける床面、壁面はクロス貼りなどの仕上げを施してください。
- キャビネットの壁固定部分には、設置壁の裏面に固定用木さんを入れてください。
(木さんを使用せず、下地材を合板とする場合は、設置壁の全面に厚み12mm以上のJIS規格品の合板を強固に取り付けてください。)(建築工事)

コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじにあったプラグ(引抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじにあわせて現場にて準備してください。
(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

- 給水管を所定の位置に取り出してください。
- 器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 排水管を所定の位置に仕上げ面より下記要領で立上げてください。
(排水管はVU40・VU50または、VP40・VP50をご使用ください。)
- 三方壁に設置する場合は、商品開口に対して片側5mm以上のクリアランスを確保してください。更に、ドア枠、額縁、幅木のチリを考慮してから壁仕上げ寸法を決めてください。

※排水管と仕上げ面の取り出し穴にすき間がある場合は、シリコンシール材でシールしてください。



- ※電気温水器をセットする場合は、100mmで立ち上げてください。
- ※台輪付の場合は150mmで立ち上げてください。(電気温水器を併設する場合も同一です。)

6) 洗面化粧台を取り付ける前に

確認1 台輪付ですか?

→ 洗面化粧台と台輪をセットしてください。

※取り付け要領は台輪の組立・設置説明書をご参照ください。

確認2 体重計収納付きですか?

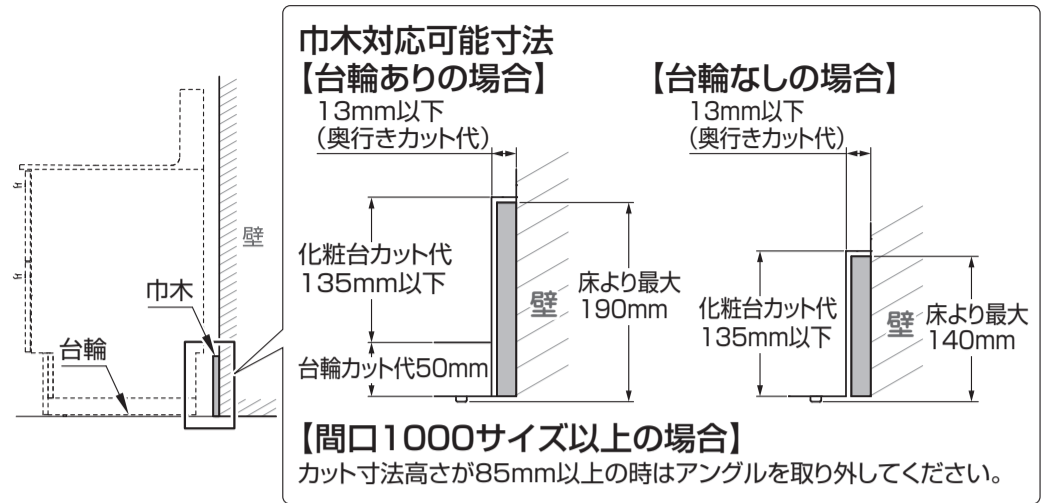
→ 洗面化粧台を設置する前に蹴込部をカットしてください。

※カット要領は体重計収納の組立・設置説明書をご参照ください。

※台輪付の場合、取り付けできません。

確認3 後壁に巾木はありますか?

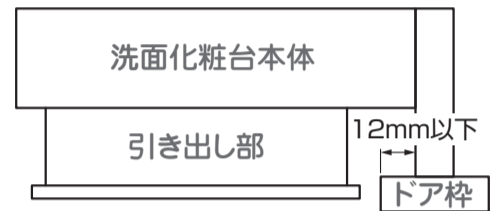
→ 壁に巾木がある場合は、下記寸法以下であれば洗面化粧台後部及び台輪後部をカットできます。



確認4 洗面化粧台はドア枠対応商品ですか?

→ ドア枠対応商品の場合、ドア枠の出幅を確認してください。

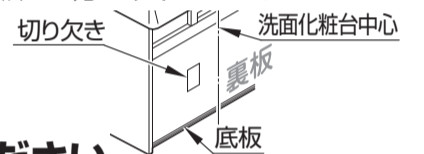
※12mm以下になっているか確認ください。



確認5 魔法びん電気即湯器を取り付けますか?

→ 取り付ける場合は、アースターミナル付きコンセントが必要です。必要に応じて裏板を切り欠いてください。

※壁付コンセントの位置を確認した後、コンセントと裏板の切り欠きが合うように裏板を切り欠いてください。



→ 取り付け要領を確認してください。

※取り付け要領は各商品に付属の施工説明書をご参照ください。

7) 取り付け手順(番号順に取り付けてください。)

- 化粧台をひきずらないでください。

1 キャビネットの引き出しを外す

- 取り付け完了後、元に戻してください。
(引き出しの取り外しかた・取り付けかたは、9)取り付け完了後の確認と清掃をご参照ください。)

2 給・排水穴の穴あけ

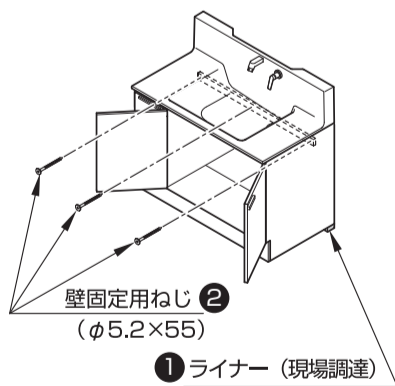
- 給水・排水の位置に合わせて化粧台に給水、給湯穴(φ30~50×2カ所)、排水穴(φ50)を穴あけしてください。

3 水栓の取り付け

- 水栓の取り付けは、化粧台を壁固定する前に行ってください。
※取り付けについては、水栓金具の施工説明書をご参照ください。

4 化粧台の取り付け

- 商品を手水平・垂直になるように取り付けてください。
(床・壁面にゆがみがある場合は、ライナー(現場調達)を入れて調整してください。)
- 付属の壁固定用ねじ(3本)で壁に確実に固定してください。

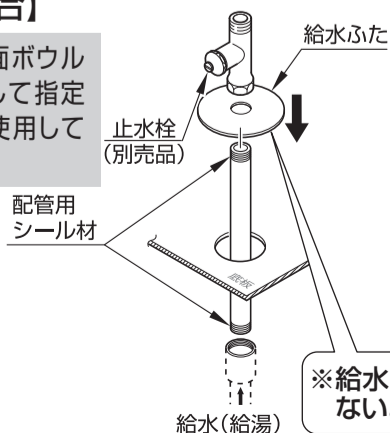


5 止水栓の取り付け

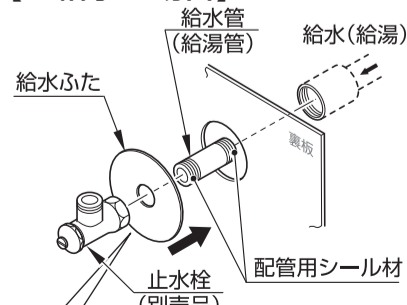
- 止水栓は工具で確実に締め付けてください。
- 樹脂配管対応はTSAS4BJZAに付属の施工説明書をご参照ください。

【床給水の場合】

※止水栓は洗面ボウル高さを確認して指定の止水栓を使用してください。



【壁給水の場合】



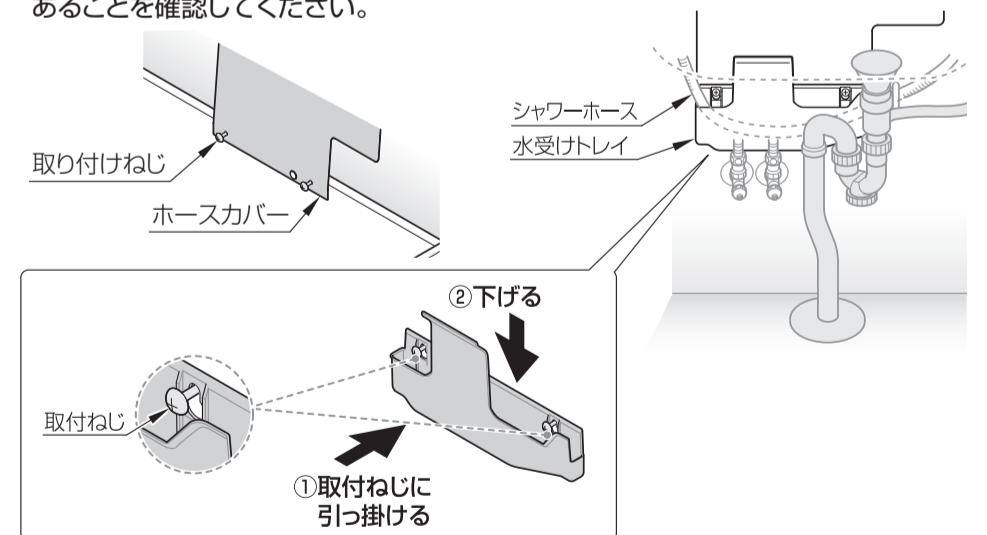
※給水ふたは、底板および裏板とのすき間がないように確実に押さえつけてください。

6 水栓金具の給水・給湯の接続

- 取り付けは、化粧台を壁固定した後に行ってください。
- 給水・給湯の接続は、水栓金具に付属の施工説明書に従い接続してください。

7 水受けトレイの取り付け

- 水受けトレイを取り付ける前に、ホースカバーに水受けトレイの取り付けねじがあることを確認してください。



- シャワーホースが水受けトレイに確実におさまっているか確認する

7) 取り付け手順(つづき)

8) 排水トラップの取り付け

⚠ 注意

- ・パッキンの方向に注意する
パッキンは下図の位置に取り付ける
- ・排水トラップの矢印マークと排水の流れの方向を合わせる
- ・ナットは手で確実に締め付け、工具は使用しない
水漏れの原因になります。

必ず実行

【床排水の場合】

テールピース、袋ナット、パッキン、排水トラップ、排水パイプ、排水ふた、防臭栓、排水管、底板

排水トラップはテールピースや排水パイプが奥に当たるまで差し込んでください。

排水ふたは底板とのすき間がないように確実に押さえつけてください。給水ふたと重なる場合は重なる部分をカットしてください。

重要
防臭栓は取り付け忘れ、すき間がないようにしてください。下水ガスが流入し錆・異臭の原因になります。

【壁排水の場合】

アダプター 別売品(下表参照)、排水パイプ、排水管、裏板、排水ふた、ふた固定用ねじ(3本)φ3×12

排水パイプと排水管は別売品のアダプター(下表)で確実に接続してください。

排水パイプは、現場に合わせてカットしバリは取り除いてください。

排水トラップは、テールピースや排水パイプが奥に当たるまで差し込んでください。

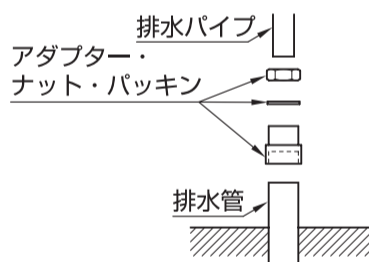
★印は、別売品の壁排水管 L095 の部品を示します。

- ・集合住宅・高層住宅の場合、排水管と排水パイプを別売のアダプター(下表)で確実に接続してください。

アダプター接続の場合

アダプターの種類	サイズ
T1122R(鋼管用)	R1 1/4
T1122J(塩ビ管用)	30用
LO48(塩ビ管用)	40用
LO49(塩ビ管用)	50用

※上記品番はアダプター・パッキン・ナットのセット品番です。
※T1122Jは排水パイプのカットが必要です。

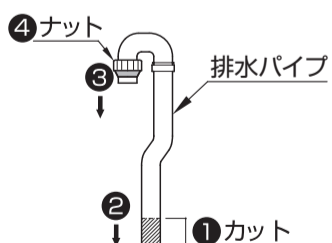


⚠ 注意

必ず実行
接着剤は必ず、アダプターと排水管の両方に塗布する片側のみ塗布した場合、水漏れの原因になります。

〈T1122J使用時の取り付け手順〉

- ① 排水パイプを現場に合わせてカットしてください。(右図参照)
- ② カット側をアダプターに差し込んでください。
- ③ 排水パイプ上部を排水トラップに奥に当たるまで差し込んでください。
- ④ ナットを手で確実に締めつけてください。



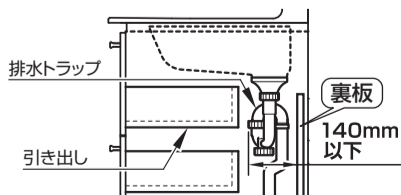
⚠ 注意

禁止
工具は使用しない
水漏れの原因になります。

- ・排水トラップを設置したあとは、下図の範囲に納まっているか確認をしてください。

⚠ 注意

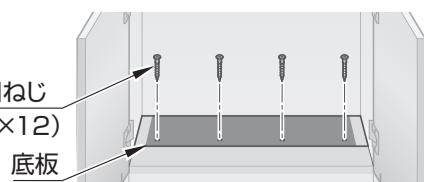
必ず実行
排水トラップを右図の範囲に設置し、引き出しが当たらないか確認する水漏れの原因になります。



9) 底板の固定

- ・底板を底板化粧用ねじ(φ3.5×12)で固定してください。

底板化粧用ねじ 4本(φ3.5×12)

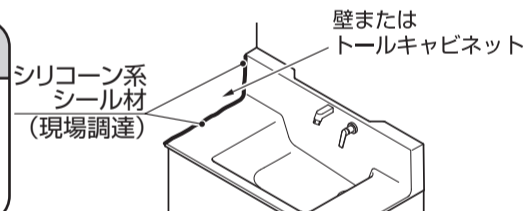


8) 壁やトールキャビネットとの処理方法

- ・カウンターと壁またはトールキャビネットの突き合わせ部をシリコン系シーリング材でシールしてください。

⚠ 注意

必ず実行
必ずシールをする
シールをしないと突き合わせ部から水が浸入し、キャビネットや壁・床を傷める場合があります。



9) 取り付け完了後の確認と清掃

- ※扉・引き出しの傾き・がたつきなど丁番・レールのゆるみがないことを確認し、必ず調整をしてください。

- ・キャビネットが壁に確実に固定されていることを確認してください。

【調整要領】

〈扉の丁番調整のしかた〉

〈左右のずれ〉
調整ねじで調整する。
※ねじを回すと、扉が左右に動きます。

左回し(外側へ)、右回し(内側へ)

〈前後のずれ〉
固定ねじで調整する。

① ねじをゆるめる、② 扉を動かして調整、③ ねじを締める

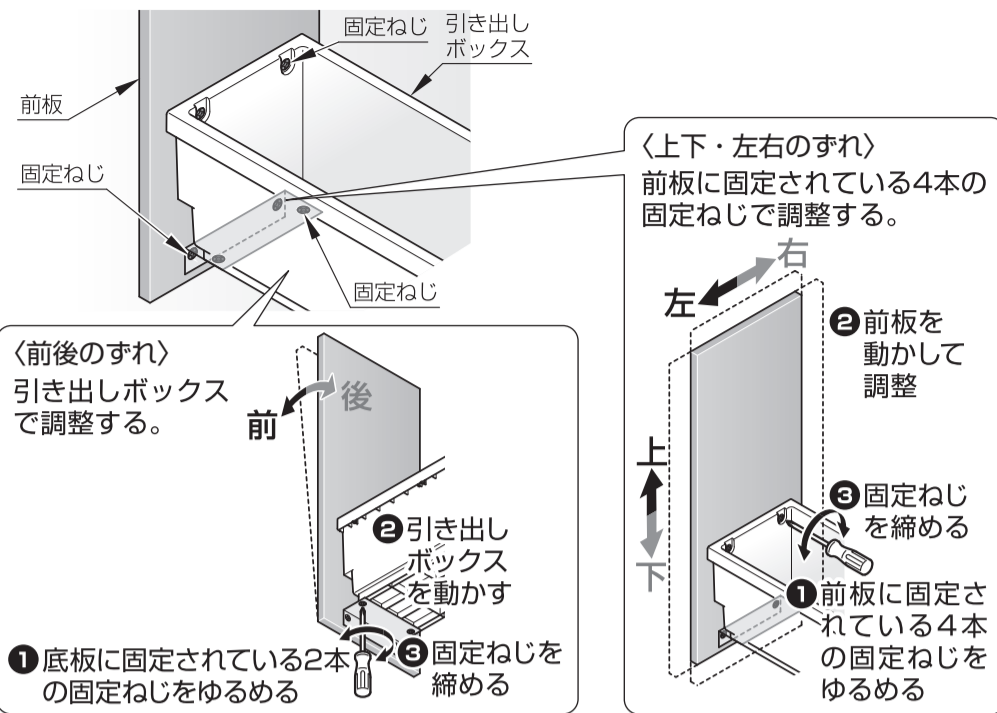
⚠ 注意

禁止
電動ドライバー禁止
部材が破損し扉の脱落につながり、けがをするおそれがあります。

必ず実行
調整後、固定ねじをしっかりと締め付けて、ゆるみがないことを確認する
扉が外れて、けがをするおそれがあります。

9) 取り付け完了後の確認と清掃(つづき)

〈片引き出し前板の調整のしかた〉



注意

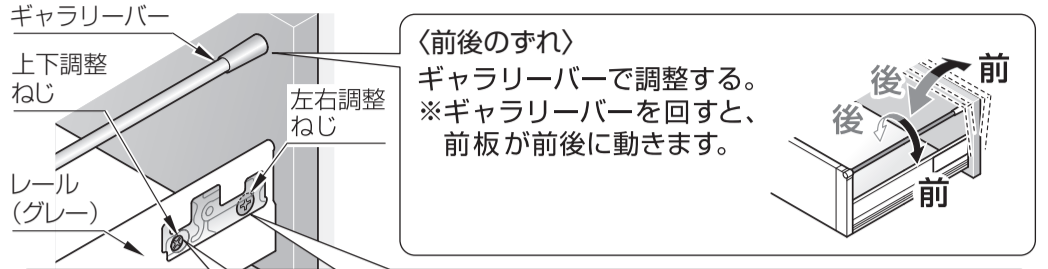
調整後は必ず、固定ねじを締め付ける
引き出し前板が落下してけがをするおそれがあります。

必ず実行

2段引き出しタイプ・3wayキャビネットタイプ

〈引き出し前板の調整のしかた〉

引き出し底板裏面にアングルが付いているので必ずねじをゆるめてください。



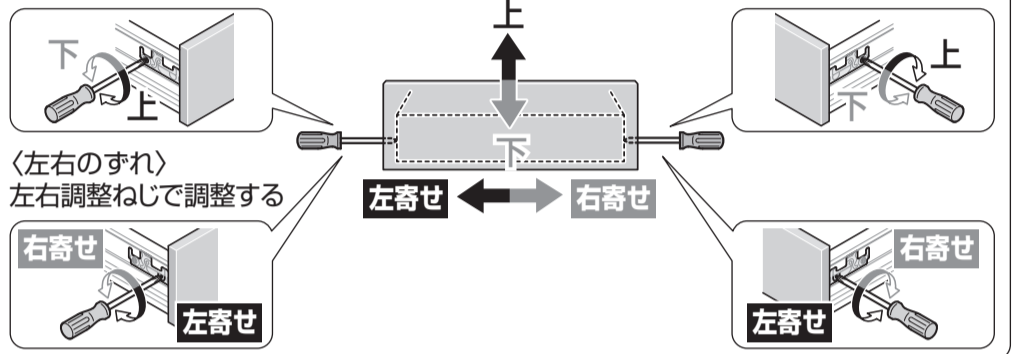
1 キャップを取り外す



2 上下・左右調整ねじで調整する

※片側だけの調整では動きません。必ず両側のねじで調整を行ってください。

〈上下のずれ〉
上下調整ねじで調整する



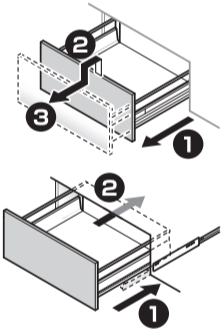
【着脱要領】

〈引き出しの取り外しかた〉

- 1 引き出しを完全に引き出す
- 2 引き出しの手前を少し持ち上げ、引っ張りながら一度下ろす
- 3 そのまま引き抜く

〈引き出しの取り付けかた〉

- 1 レールを奥まで押し込む
- 2 引き出しをレールの上に置き、そのまま押し込む
※「カチャ」と音がして、ロックされます。



注意

禁止 **ギャラリーバー部分を持たない**
ギャラリーバーが外れて引き出しが落下し、けがをするおそれがあります。

必ず実行 **取り付け後必ず2~3回開閉して確実に取り付けられているか確認する**
確実に取り付けられていないと使用中に引き出しが外れてけがをするおそれがあります。

- 通水し、配管内部の詰まり、配管接続部の水漏れ、ボウル内に汚れのないことを確認してください。
- 商品に付いた汚れ(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたく絞ってふき取ってください。その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げ、最後にからぶきしてください。

重要

有機溶剤(シンナー・アセトン)などの使用は表面を変色・変質させますので、絶対に使用しないでください。

- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどで遮ってください。
- 扉や前板に傷つき防止用保護シートが貼られている場合は、シートをはがしてください。
- 2段引き出しタイプ(LDFA***BC)、3Wayキャビネットタイプ(LDFA***BD)の場合、給水・給湯ホースと引き出しが干渉しないことを確認してください。(引き出しが閉まらない、給水・給湯ホースが傷つく原因になります。)干渉する場合は、ホースのたるみがないように調整してください。

10) 寒冷地用の水抜き方法

- 凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
- 寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。
- 水栓金具の水抜きについては、水栓金具に付属の施工説明書を参照ください。

注意

必ず実行 **水抜きコックは工具は使用せず手で確実に締め付ける**
水漏れの原因になります。

【排水トラップの水抜き】

- 1 水受けの容器を置き、排水トラップの水抜きコックを開けてください。
- 2 水抜き後は、必ず水抜きコックを手締めで確実に閉じてください。

